



Since 1937

Child Evangelism Fellowship of Japan

日本児童福音伝道協会

(1)

CEF ニュース

No.160 2026. 秋号

このように、この小さい者たちの一人が滅びることは、天におられるあなたがたの父のみこころではありません。マタイ 18:14

「イエスさまのたとえから学ぶ祈り」



吉川 あゆみ

「いつでも祈るべきで、失望してはいけないことを教えるために、イエスは弟子たちに

たとえを話された。...まして神は、昼も夜も神に叫び求めている、選ばれた者たちのためにさばきを行わないで、いつまでも放っておかれることがあるでしょうか。あなたがたに言いますが、神は彼らのため、速やかにさばきを行ってくださいませ。だが、人の子が来るとき、はたして地上に信仰が見られるでしょうか。」 ルカ 18 章1、7、8 節

私たちの人生には、想定外の思わぬことが起こります。また私たちは問題や課題、試練等どうしたら良いかわからない、先行きが見えないようなことにも遭遇します。しかし、私たちは四方八方から苦しめられても窮することはありません。途方に暮れても、行き詰まることはないのです。なぜなら、私たちを見放さず、見捨てないお方が私たちの主であられるからです。主は私たちの置かれている状況、問題の経緯、解決や解放をすべて知っておられます。そしてこのお方は「すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」(マタイ 11:28) と招いてくださるのです。ハレルヤ。私たちは主のみもとに行き、主との個人的な交わり、祈りの生活に生きることが出来るとはなんと幸いなことでしょうか。

さて、今回はルカの福音書 18 章のたとえから祈りについて 3 つのことに心を留めたいと思います。

第一は、「いつでも」ということです。私たちは、いつでも祈れるのです。ルカの福音書 18 章に登場するやもめは、ひっきりなしに出かけて行きました。詩篇 121 篇 4 節に、神は「まどろむこ

ともない。」と記されています。神は時間制限のない方、時を支配しておられるお方です。私たちが眠れない夜であっても、忙しい日々の合間であっても、いつでも祈ることが出来るのです。また「いつでも」とは、どのような状況にあってもということも出来ます。楽しい時や感謝な日にも、苦しい時や孤独を感じる時、悲しくて力が出ない時であっても主は私たちを知っていてくださり、私たちの祈りに耳を傾け真剣に聴いてくださるのです。

第二のことは、「失望してはいけない」ということです。主は私たちが失望に傾きやすい存在であることをもご存じです。サタンは私たちをなんとか失望させようと必死になって探し回っています。彼らは、私たちを失望させることによって主から引き離そうと必死だからです。しかし聖書には「・・この方に信頼する者は決して失望させられることがない。」と記されています。祈りとは、主に望みを置くことであり、主に信頼して主に重荷をおゆだねすること、お任せすることでもあるのです。その時、「私たちの思い通り、願い通りに・・・」ではなく、主のみこころになりますようにと祈る者に変えられて行きます。全知全能なる神は私たちを大事に大切に思っていてくださいます。私たちは主の最善がなされることを信じ、自分に与えられた主の御心に邁進して参りたいと思います。神に叫び求めている者のために、主は御業を成してくさるのです。

第三のことは、「ましてや神は」ということです。主は、たとえの中に、神を恐れず、人を人とも思わない不正な裁判官を登場させていますが、ある意味において奥義を隠しておられます。ルカの福音書 18 章では、一人のやもめが不正な裁判官の所にひっきりなしにやってきて、「うるさくて仕方がないから、彼女のために裁判をしてやることにしよう。」と記されていますが、主は単なる熱心さを求めてこのたとえを語っておられるわけではありません。もちろん、いつでも、どんなときでも祈って良いのですが、7 節にある「ましてや神は」とは、神がいつまでも放っておかれることなどない。必ず、神の時にさばきを、解決を与えてくださる。神のご計画は必ずなるということです。ですから、私たちは主が再び来られることを心に留め、主ご自身を信頼して祈ることが大切なのです。(2面に続く)

私たちはこの世にあっては旅人であり、寄留者です。やがて主が用意しておられる天の御国に帰るのですから、目の前のことだけに心がとらわれ、木を見て森を見ずの信仰であってはならないのです。私たちが思い煩いに支配されず、主に信頼し続けるためにも高い視座から祈ることが重要ではないでしょうか。私たちの主は、自己中心の不正な裁判官ではありません。やがての日、全てのことを裁かれる真の大祭司であられ、全てを統治される主の主、王の王であられるからです。私たちは主が再び来られるその日まで、祈りという主の名を呼び求める恵みが与えられているのです。ですから、大いに主の名を呼び求めようではありませんか。主は『わたしを呼べ。そうすれば、わたしはあなたに答え、あなたが知らない理解を超えた大いなることを、あなたに告げよう。』(エレミヤ 33:3) と仰せられるのです。

(石岡シオン・キリスト教会牧師)

26年 TCEレベル1集中コース



今年、本部では5月の連休に5名の参加者が与えられ、TCEレベル1の集中コースを開催いたしました。学生の皆さんが互いを思いやり、助け合いながら学び、ハードスケジュールの中、和やかで優しさの溢れたクラスとなりました。学生の皆さまのお証しです。来年レベル2で会えますように！

●87 才の私にはハードでしたが受講生の皆さんが助けて下さり何とか終えられました。受講生よりも多い講師陣に主催者の熱意と良心を感じます。懇切な個人指導に感謝いたします。これが無ければ、受講を続けることはできなかったと思います。講師の児童伝道に対する使命感とご体験は感銘深いものでした。これに習って伝道に活かして行きます。有難うございました。(K.E.)

●どの先生の講義も、経験から語って下さっているから、本当に分かり易く、あつという間の講義でした。しかも内容がずっと悩んできた子供の導き方。ズバリその内容だったので悩みの答えのすべてが授業に含まれていました。先生方の優しさ、熱心さ、親切さ、子供を思う熱い気持ちに涙、涙、涙でした。日本中の世界中の子供たちに神様の救いを信仰の成長が豊かにありますように。皆様のご健康も守られますように。全ての恵みに感謝します。(M.O.)

●私の教会の教会学校をどれほど神様が愛され子供達を沢山送って下さっているのか良く分かりました。それなのに私は子供達に曖昧な福音、中途半端な招きしかしてこなかった事にショックを受けました。子供を救いに導くことは、しっかり学んで確実に福音を伝えて招きをしななければいけない、子供達の機会をむだにしたいいけないと心底思いました。一人の子供も失われることを望んでおられない神様の愛を伝えていきたいです。(S.K.)

●集中コースを受講して、大きく二つの恵みを得た。一つは、コース中たくさん証を聞いたことだ。それぞれの救いの証や伝道の証を聞き、神様の大きな御業を感じることができ、神様を賛美した。もう一つは、福音を語りたいという思いが強められたことだ。聖書のお話を語ったことのない私にとって、今回の学びは初めてのことばかりで、これからに向けて本当に大きな糧となった。人間の思いを遥かに超えた神の計画に期待して。(M.T.)

●私はこの学び会に参加して受講生の方々の子供への熱意、(先生方も)伝道に対する気持ちが伝わり心が励まされる思いでした。学びでは字のない本が自分の思っている以上に、伝道に最適、聖句と本が結びつく方法を学べて良かったです。きれいな本のところをもう一度よく復習し、忘れないようにして、また、安田先生や高先生に会って、プラクティカムを実演できるよう備えたいと思います。学びをさせていただき有難うございました。(H.N.)



授業



プラクティカム

TCE2 集中コース開催のお知らせ

救われた子どもを霊的成長へ導くための基礎を学ぶクラスです。レベル1で子どもを救いに導き、クラス運営を学んだ後、どのように子どもたちをキリストの弟子として育てていくかを具体的に学びます。受講には、TCE レベル1の修了証書と5つの実習の完了が必要です。

日時：2027年5月3日(月)ー7日(金)
詳しくはチラシをご覧ください。

デボーション・デイキャンプ



不安なことが多い現代の子どもたちに、本当に信頼できるお方を知ってほしいと願い、聖書箇所には詩篇 91 篇を選びました。真剣にみことばを読んだあとの分かち合いでは、5 節の「あなたは恐れない。夜襲の恐怖も 昼に飛び来る矢も」や、7 節の「千人があなたの傍らに、万人があなたの右に倒れても、それはあなたには近づかない」ということばが心に残ったという子どもがいました。また 15 節の「彼を救い 彼に誉れを与える」の「誉れ」について考えた子どももいました。「神さまを信じれば神さまが守ってくれるんだなと思った」という声があり、子どもたちがみことばを自分のこととして受け止めてくれて感謝しました。

今回は、アメリカ出身で英会話講師・ラジオ番組 DJ・マンホールアートのフロッタージュ(写し絵) 作家のカール・ギャリティさんと奥様のみなさんをお迎えしました。オリジナルの英語さんびで体を動かしながら主を賛美し、エッグハントや、カールさんが得意なフリスビーなどのゲームを通して子どもたちはたくさんのみことばに触れました。



午後のフロッタージュ工作では、子どもたちが凹凸のある物の上に紙を置き、色鉛筆で軽くこすって模様を浮かび上がらせ、思い思いの色で楽しい作品を仕上げました。



また、カールさんが「今アメリカのために祈ってほしいこと」を教えてください、その祈りの課題をカードにして、みんなで心を合わせて祈りました。そして、さんびの時間にはいつものように濱田淳子姉の指導と伴奏で、今年は子どもさんびか 56 番「あなたがこわくなったとき」を、大人も子どもも大きな声で賛美し、覚えて帰りました。

各支部の活動報告

東京支部

東京 GNC(放課後子ども会)講習会(全 5 回)は 4 月に開講し、8 月が最終回となります。「キリストのご生涯 I」を教材として、オープニングゲーム、さんび、暗唱聖句、聖書レッスン、宣教教育(メリー・スレッサー)、復習ゲームなど、GNCに必要なプログラムを実演で学んでいます。また、学んでいる皆さんが互いに励まし合う場ともなっています。

北海道支部

北海道 CEF では、6 月から 10 月までスーパーセミナーを開催し、子どもたちの救いと成長のために有益な学びとチャレンジの時となっています。北海道で行われる講習会に、昨年から継続して学ばれる方々に加えて、今年から新しく学ぶ方々も与えられ感謝いたします。

東北支部

東北支部では、7 月 4 日から毎週土曜日に TCE レベル 1(全 10 回)を 4 名で学んでいます。「字のない本」や聖書レッスンの組み立て方など、基本的な内容をしっかり学ぶことで、子どもたちに福音を伝える自信がついています。



2026 年 CPC セミナー

CEF ではクリスマス・パーティー・クラブ(CPC)をお勧めしています。毎年セミナーでは、新しい視覚教材を作成し、実演をしています。セミナーで学ばれ、CPC 開催をなさる方には無料で教材を提供し、実施後のご報告、感想もお願いし、毎年主のみわざに感謝しています。今年の教材「大きな喜びの良い知らせ」では、神さまが救い主イエスさま誕生という知らせを 3 つの場面でされたことを伝えます。子どもたちにも神さまが一年中良い知らせを与えてくださることを伝えましょう。

対面

- ▶ 9/15 (火) CEF 本部 10:30-12:00
- ▶ 9/19 (土) 東北支部 10:30-12:00
- ▶ 9/29 (火) 淀橋教会 10:30-12:30
- ▶ 10/6 (火) 大阪 福音交友会 ミッションセンター 10:30-12:30
- ▶ 10/13 (火) 八王子家庭集会 12:00-15:00
- ▶ 10/27 (火) 山口 やないグレースチャペル 14:00-16:00
- ▶ 11 月 沖縄にて開催予定

オンライン

- ▶ 10/16 (金) ZOOM 19:30-21:00

ジェイン田中宣教師 主の御もとへ

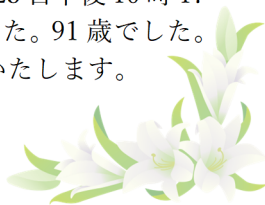


ジェイン田中宣教師は去る4月25日夜、91歳で主の御もとへ帰りました。1966年アメリカ、シアトルより来日し、先にカナダより来日していたフレッド田中宣教師と結婚、以来CEFで子どもの救いのため、忠実に主に仕えました。お祈りで支え続けてくださった皆さまに心から感謝申し上げます。



フレッド田中挨拶

私の妻、ジェインは私の妻になって60年、いつも日本の子ども達の救いのために祈り、また心を遣う女性でした。アメリカ人であるという立場をも生かして、英会話やアメリカのお菓子などで子どもたちの心にも近づいて、良い働きを続けました。しかし、晩年は病気と闘う日々となりました。そしてついに体を動かすこともままならなくなり、今年1月石岡市の病院に入院しましたが4月25日午後10時17分、安らかに主の元に帰りました。91歳でした。皆さまのお祈りを心から感謝いたします。



CEF世界祈禱日

今年の世界祈禱日は11月4日(水)です。子どもの救いと成長、またCEFの働きのために祈りの友の皆様と世界中のCEFスタッフが一齐に連鎖祈禱を行う特別な日です。チラシをご覧のうえ、どうぞ忘れずにお申込みください。



お申し込みはこちらから

すべての子どもたちの救いのために祈ろう！

CEF世界祈禱日 11月4日(水)

24時間連鎖祈禱

QRコードから、お申し込みください

(メール、FAX可)

働き人募集

日本CEFでは、子ども伝道に重荷を持っておられる働き人を募集しています。子どもたちに福音を伝える働きに、共に仕えてくださる方をお待ちしています。詳細はホームページをご確認ください。下のQRコードからご覧いただけます。



CEFの働き人募集中



会計報告 尊い献金を心から感謝いたします



献金 (26年2月-7月)		収入 (2-7月)		支出 (2-7月)	
2月	447,250	献金	6,897,050	人件費	4,739,425
3月	876,945	謝礼	25,000	運営・管理費	2,600,289
4月	580,120	教材売上	343,902	什一献金	398,975
5月	773,385				
6月	3,501,000				
7月	718,350				
合計	6,897,050	合計	7,570,952	合計	7,738,689

CEF(児童福音伝道協会)は、福音を聞かずにいる子どもたちをキリストに導き、霊的成長を助け、福音的教会に結びつけるためにキリストのからだなる教会に仕える組織で、諸教会および主にある兄弟の祈りと献金により支えられ、奉仕しています。

発行日/2026年9月1日 発行/日本児童福音伝道協会 〒311-3434 茨城県小美玉市栗又四ヶ 2421-6

No.160/2026 秋号

Tel (0299) 28-2031 Fax (0299) 28-2028 振替 00160-1-59313

Email japancef@cef.or.jp ホムンズ http://www.cefjapan.com